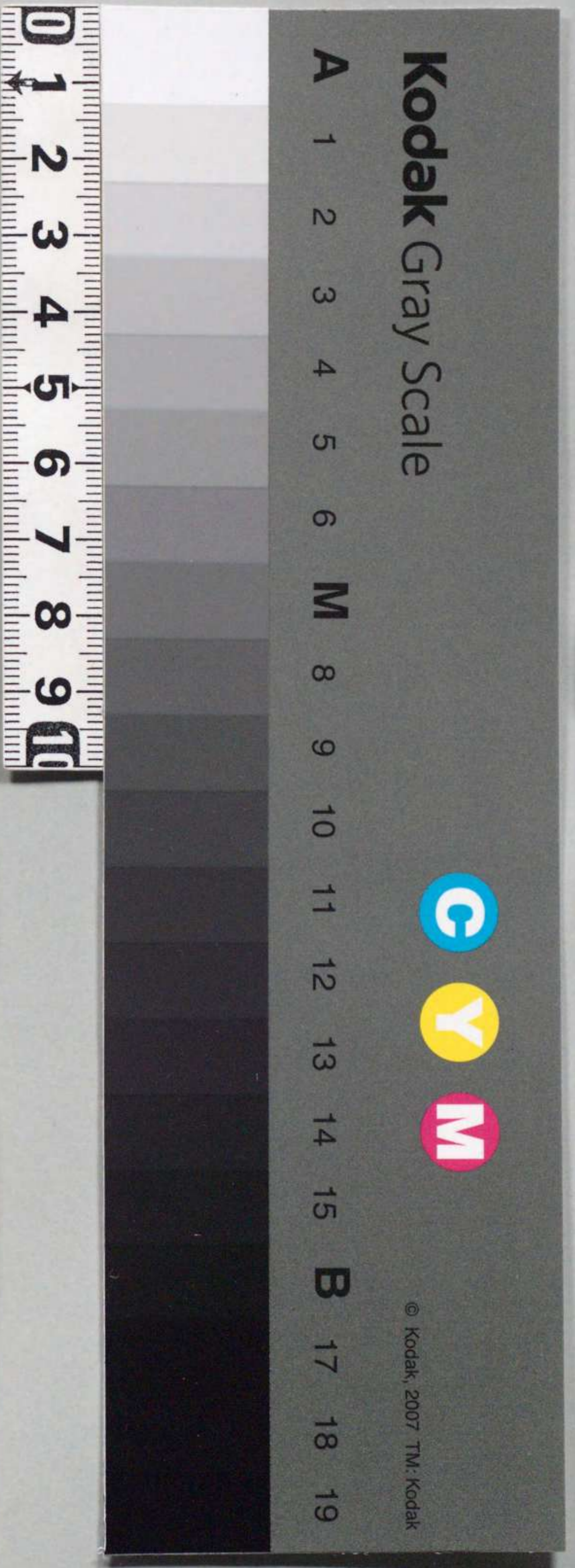
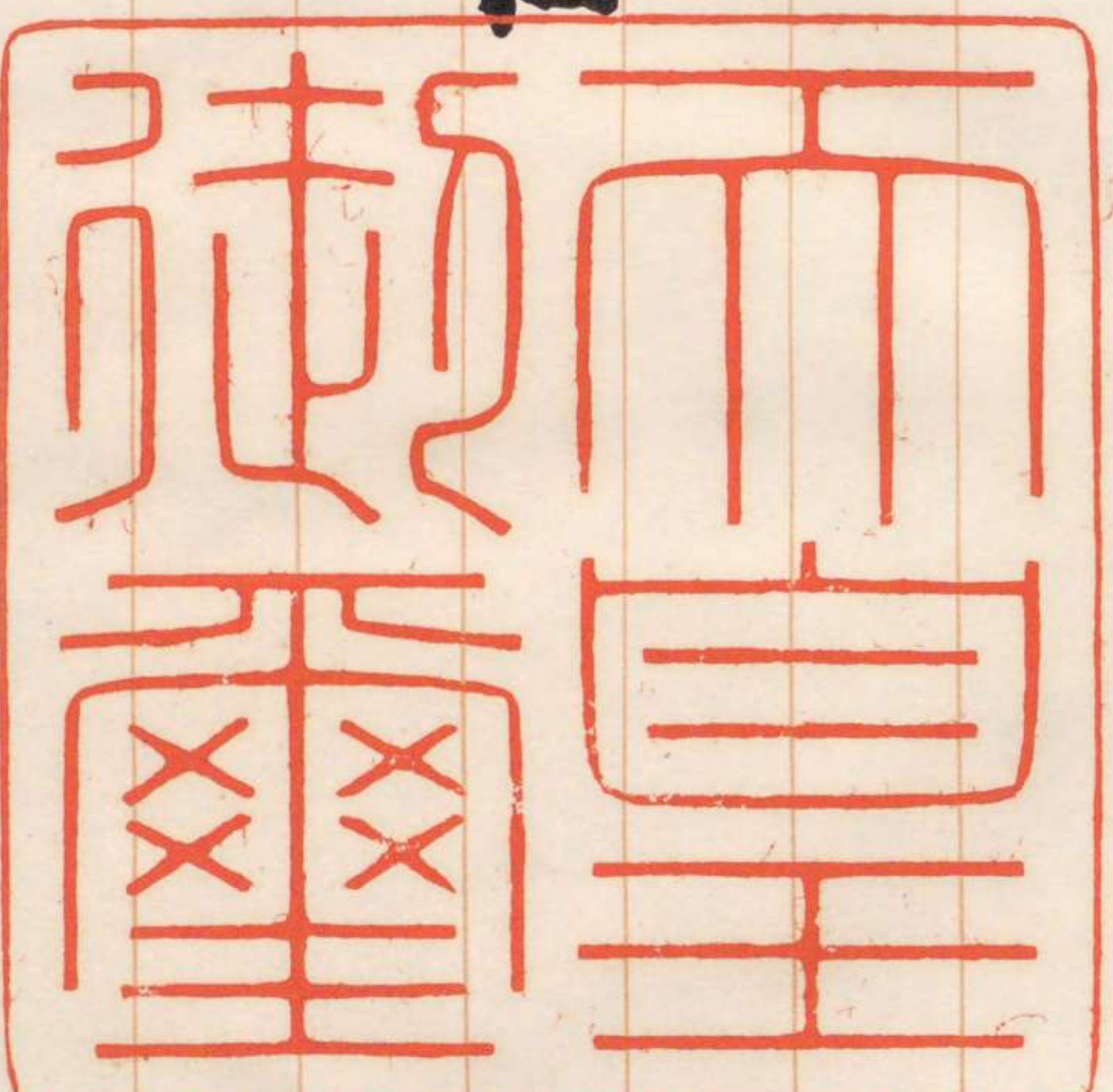


勅令第18号



朕砲兵會議條例ノ改正ヲ裁可シ茲
ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治廿一年五月十九日

日

月

内閣総理大臣伯爵黒田清隆
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第三十八號

砲兵會議條例

第一條 砲兵會議ハ砲兵監ニ隸シ武器
彈藥装具材料器械及其用法ヲ調査議
定シ且常ニ外國砲兵ノ事項ヲ研究ス
ル所トス

第二條 會議ニ左ノ職員ヲ置ク

議長 砲兵大佐 一

事務官 砲兵少佐 二 砲兵大中尉 五

第三條 議長ハ會議諸般ノ事務ヲ總理

之議事ヲ整理シ而シテ其管掌ノ事ニ
就テハ監ニ對シ擔保ノ責ニ任ス

第四條 事務官ハ考案ノ起草物件ノ試
驗ニ從事シ且經理及庶務ヲ分擔セシム

第五條 事務官ノ下ニ砲兵上等監護
砲兵監護砲兵科諸工長及屬若干
名ヲ置ク

第六條 會議ニ議員ヲ置キ之ヲ分ツテ
二部ト為ス

第七條 第一部議員ハ砲兵科佐官ヲ以

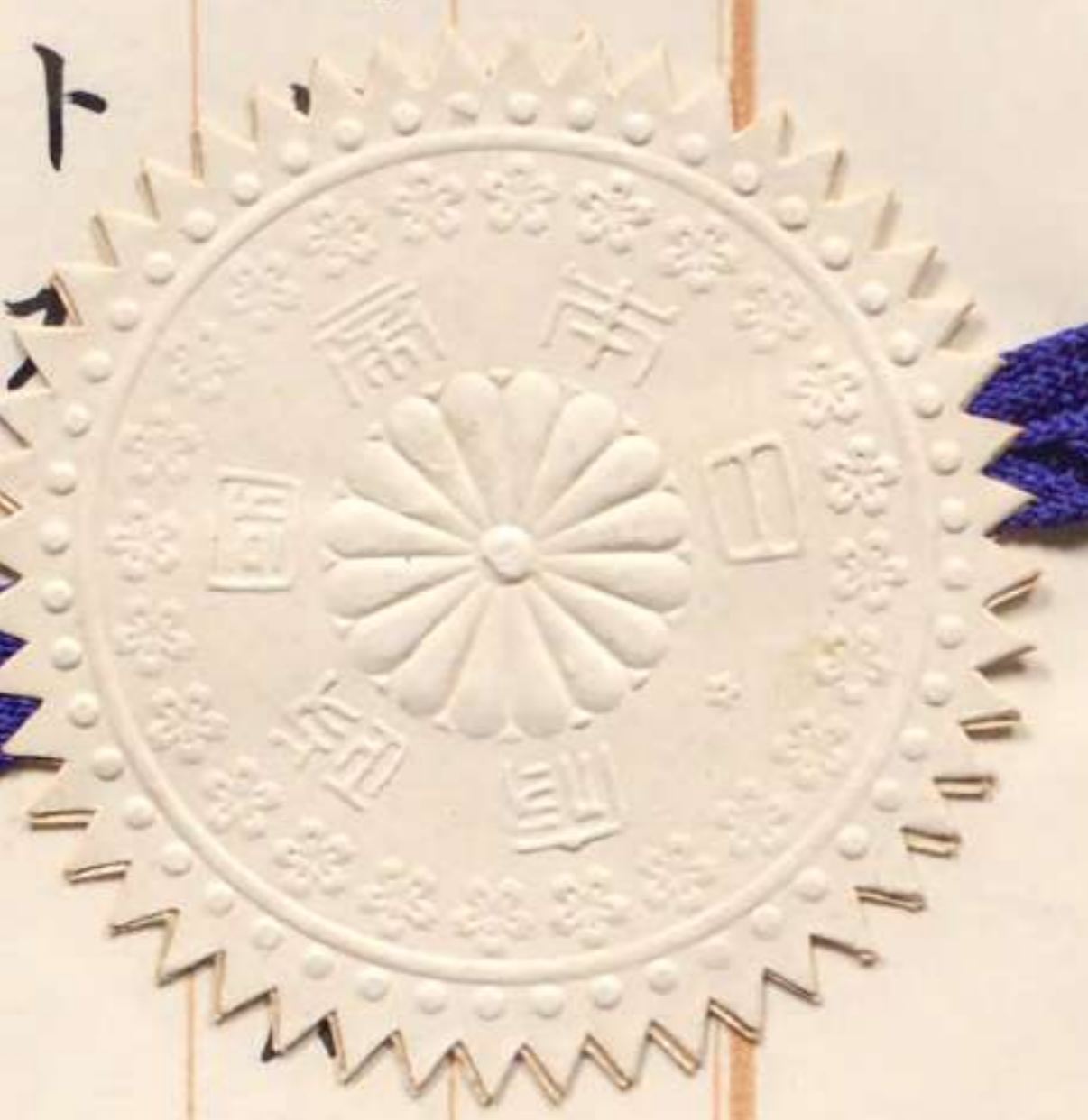
テ之ニ補ス
但此議員
者ヲ以テ兼補
スルモノトス

第八條 第二部議員ハ戰事上要スルニ方

リ各本職アル參謀
醫部獸醫部上長官
テ之ニ補ス
陸軍技師ヲ以

但此議員ハ其議
任スルモノトス
了レハ直ニ解

第九條 議事ニ當リ
議長不在ナルトキハ



司

シ議事ヲ整理シ而シテ其管掌ノ事ニ
就テハ監ニ對シ擔保ノ責ニ任ス

第四條 事務官ハ考案ノ起草物件ノ試
驗ニ從事シ且經理及庶務ヲ分擔セシム

第五條 事務官ノ下ニ砲兵上等監護
砲兵監護砲兵科諸工長及屬若干
名ヲ置ク

第六條 會議員ヲ置キ之ヲ分ツテ
二部ト為ス

第七條 第一 砲兵科佐官ヲ以



テ之ニ補ス

但此議員ハ本職アル者ヲ以テ兼補
スルモノトス

第八條 第二部議員議事上要スルニ方
リ各本職アル參謀官諸兵科監督部軍
醫部獸醫部上長官并ニ陸軍技師ヲ以
テ之ニ補ス

但此議員ハ其議事ヲ了レハ直ニ解
任スルモノトス

第九條 議事ニ當リ議長不在ナルトキハ

其議席ニ限リ當該議員中高級ノ者議
長ノ代理ヲ為スヘシ

第十條 凡ソ會議ノ議題ハ砲兵監ヨリ
下付スルモノ或ハ會議ノ立案ヨリ成
ルモノトス

第十一條 議題ハ事ノ性質ニ因リ陸軍
大臣或ハ參軍又ハ監軍ヨリ發スルモ
ノニシテ各其出タス所ヲ異ニスト雖
モ之ヲ下付スルノ順序ハ陸軍大臣參
軍ハ監軍ニ移シ監軍ハ監ニ付シ監之

ヲ議長ニ下ス

第十二條 試驗ノ為メ材料職工又ハ模
範等ノ製造ヲ要スルトキハ議長直接
ニ砲兵工廠提理ニ就キ之ヲ求ムルコ
トヲ得但該費用ハ會議ヨリ辨償スル
モノトス

第十三條 物件ノ試驗又ハ模範等ヲ製
造スル為メ別途費用ヲ要スルトキハ
其理由ヲ悉シ費用ノ豫算ヲ添ヘテ之
ヲ監ニ具申スヘシ

第十四條 物件試験等ノ為メ兵隊若クハ人馬ヲ要スルトキハ其理由ヲ悉シテ之ヲ監ニ具申ス可シ

第十五條 試験ノ事ニ就キ砲兵射的學校教導中隊ヲ要スルトキハ議長直接ニ校長ト協議シ之ヲ使用スルコトヲ得